


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 27 年 6 月 15 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・博士課程学生
氏名	廣田周平

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)
屋久島
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)
屋久島フィールド実習 (キノコ班)
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)
平成 27 年 5 月 23 日 ~ 平成 27 年 5 月 29 日 (7日間)
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
今回の実習では屋久島のキノコの採集やキノコの分布についての解析を行った。今回の調査では、標高や降水量といった条件を考えて5箇所の採集サイトを選び、3日間に渡り採集を行った。私はこれまでに何かを採集するために山歩きをするということをしたことがなかったため、地面や木々の表面を舐めるようにキノコを探すと、見えなかったものが突然見えてくるようにキノコが次々と発見される感覚がとても新鮮であった。また、想像よりも多種多様なキノコが屋久島にあることがわかった。 今回得られたデータは、屋久島のキノコの植生、ひいては屋久島全体の環境を知る上で重要なものであり、今後としてはより多くの採集サイトからのデータなどが必要になってくると感じている。

<b>6. その他</b> (特記事項など)